

PA打楽器

	氏名	担当科目	経歴	メッセージ
個人	加藤 勲	ドラムセット ラテン・アフロ系パーカッション	日本のポップスバンドのドラマーとしてデビューした後に、スタジオやセッションの現場でプロ活動始める。次第にラテンパーカッションの演奏をドラムセットに取り入れて、様々な音楽ジャンルの演奏に関わる。プロ活動の中で他者とは違う独自の音楽表現能力を身に着ける為に、音楽の盛んな都市であるアメリカ合衆国のロス、ニューヨーク、シカゴ、ニューオリンズや、キューバのハバナ、トルコのイスタンブール等で現地の音楽家らとセッション活動を行う。くわえて演奏技術習得の補足として、身体動作についてアレクサンダー・テクニークを学び、踊りとリズムの関連性をインターロック・メソッドから学ぶ。 ブラジルのソウザリマ音楽大学にて、打楽器（ドラムセットとラテン・アフロ系パーカッション）演奏を学ぶ。在学中に「リオのカーニバル」として知られる、サンバ・パレードを行うエスコーラ・ジ・サンバ（Escola de Samba）に打楽器奏者として複数の団体に参加する事で、ブラジルの文化の文脈で演奏経験を積む。沖縄県立芸術大学 音楽芸術研究科に進学し、エスコーラ・ジ・サンバを主な対象としてその音楽のリズムを分析した。 YAMAHA, Zildjian, Contenporânea, アサプラ社らとエンドース契約を結ぶ。	ドラムやラテン・アフロ系パーカッションに興味を持っている皆さんへ。 授業ではラテン・アフロ系やポップスなど様々な音楽ジャンルのリズムやフレーズに触れる機会を作り、ドラムやパーカッションでそれを豊かに表現するためにはどのような演奏技術や知識が必要なのかを教えます。「ドラムを演奏できるようになりたい」「作曲の為にドラムを知りたい」どんな理由でも大丈夫です。一緒に音楽のリズムの持つ可能性を探求していきましょう。
個人	美秋 （ミシュウ）	ドラムセット （J-pop、Rock、J-fusion、Funk、Jazzなど）	小学三年生よりマリンバを始める。 中学では吹奏楽部に所属し、打楽器パートを担当。 中学三年生よりドラムを始め、以降はドラムを主軸とした演奏活動を展開。甲陽音楽学院を卒業。 現在は、ムールドラムス、Music Salon 音雫、オトノミチシルベ音楽教室にてドラム講師として指導を行うとともに、演奏家としても月に10本前後のライブ活動を行い、精力的に活動している。	ドラムを叩く時に推奨されているスティックの持ち方などが教材に載っている事があると思いますが、必ずしもそれがドラムを始めたい、極めたい方にピッタリかどうかはやってみないと分からないと考えています。☒手のひらの大きさや体格、体力などが個人それぞれという事は、叩き方やスティックの持ち方などもそれぞれになるはずと考えています。☒私のレッスンでは基礎から個人それぞれを大切にし、長く、楽しくドラムが続けられるようサポートしていきます。